

美 人

be a **GOOD** neighbor !

April

2018

vol.

05

みそのびと



美しき園の、美しき春。
「さあ、一歩を踏み出そう。」

v o l.

05

美園人

be a GOOD neighbor !

CONTENTS

S P E C I A L —「一歩を踏み出そう」特集—

- 04 美園小学校と美園中学校は新しいスタートを迎えます。
- 06 子どもだけではなく「家族」にも目を向け支えあう。
浦和大学 親子のひろば「ぱっけ」の取り組み
浦和大学 こども学部 こども学科 学科長 五十嵐 裕子
親子のひろば「ぱっけ」専門スタッフ 市川 美恵子
- 08 ポーイスカウト団結成から1年
「さいたま第226団」の活動をご紹介
- 10 「美園からはじめる、美園からはじまる」
人びとが集う「美園公民館」の新たな取り組み
行ってみよう!参加してみよう!
11 この春出かけたい、「新しい一歩」におすすめのスポット
- 12 「散策できる日本一の桜回廊」が彩る「美しき園」
地図を片手に「見沼田んぼ」に出かけよう
- 14 新しい美園の顔のひとつをみんなの手で。
「キャブテン翼」ステンドグラス除幕式を支える人びと
- be a GOOD neighbor! —「美園人」の横顔—
- 16 この人に聞きたい、美園との出会い
美園とわたし
- 17 「美園人」×「みそのいち」
生産者のみなさん聞く「季節のとっておきを教えてください!」
第1回「笠原麗芸」さんの巻
- Q U E S T I O N —「美園人」に聞きました—
- 18 だから美園が好き。その理由を教えてください。



2018年 美しき園に訪れた、美しき春。

さあ、新しい一步を踏み出そう。

be a GOOD neighbor!

美園小学校と美園中学校は新しいスタートを迎えます。

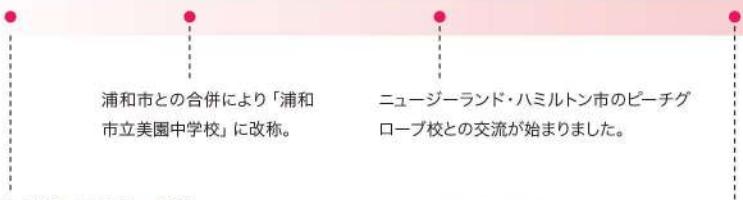
児童、生徒数の増加を受け、2019年春、美園に新しい小学校と中学校が開校します。毎朝一緒に通学している友達との別れ、新しい学校での友達との出会い、そんな寂しさと期待がいりはじめる、特別な1年間が始まります。

このページでは、美園の子どもたちが通ってきた「さいたま市立美園中学校」と「さいたま市立美園小学校」の歴史を振り返ってみましょう。

開校からのあゆみ

(上) 美園小学校 (2012年～)
(下) 美園中学校 (1959年～)

1959年 1962年 1995年 2001年



「美園村立美園中学校」開校

美園村立大門中学校・野田中学校・戸塚中学校を統合し、「美園村立美園中学校」が開校しました。



合併により「さいたま市立美園中学校」に改称。



美園中学校 旧校舎

20年以上続いていた国際交流の記念として造園された「ピーチグローブガーデン」。PTAと生徒が協力して植え替えすることで、年間を通して色とりどりの草花が学校を彩ります。



みんなで作詞した校歌

「さいたま市立美園小学校」の校歌は、全校児童で校歌に入れたい言葉を考え、作詞家の先生がまとめたもの。一人ひとりの思いが詰まった魅力的な言葉はこの先も歌い継がれていきます。



美園小学校

「さいたま市立美園小学校」開校

さいたま市立大門小学校・野田小学校・新和小学校から分離独立し、「さいたま市立美園小学校」が開校しました。



「さいたま市立美園北小学校」が開校予定です。

「さいたま市立美園小学校」開校 5 周年

2008年

2012年

2016年

2018年 2019年

「さいたま市立美園中学校」開校 50 周年

「さいたま市立美園中学校」開校 60 周年

「さいたま市立美園中学校」は 2018 年、開校から 60 年を迎えます。

「さいたま市立美園南中学校」が開校予定です。

大名行列が通った「日光御成街道」

「さいたま市立美園中学校」の前を通る道は、通称「日光御成道」と呼ばれています。「日光東照宮」にまつられた徳川家康の墓前へ参拝する将軍が、総勢 1 万人もの行列をなして勇壮に通った街道です。



子どもだけではなく「家族」にも目を向け支えあう。 浦和大学 親子のひろば「ぽっけ」の取り組み

浦和大学 こども学部 こども学科 学科長 五十嵐 裕子

親子のひろば「ぽっけ」専門スタッフ 市川 美恵子



2007年の「浦和大学 こども学部」創設と同時にスタートした親子のひろば「ぽっけ」。「こどもと育つ」という学部のコンセプトのもと、家族や地域社会との関わりの中で一緒に支えあい、育ちあう場となっています。未来の保育士・幼稚園教諭を目指す学生たちの学びの場でありながら、美園のまちに開かれ、まちとつながり、子どもたちの声が当たり前のように聞こえてくる。まるで不思議な「ぽっけ」のようにわくわくして子どもが最も大切にされる「ひろば」です。

今回は「浦和大学 こども学部 こども学科」の学科長であり、「こどもコミュニティセンター」のセンター長でもある五十嵐先生と、専門スタッフの市川さんにお話を伺いました。

「子どもの気持ち」を大切に。今、ここにいることを親子で共有する。

「ぽっけ」は主に0歳から3歳のお子さんたちが、ご家族や地域の人びと、学生たちに見守られながらのびのび遊べる「ひろば」です。目の前に広がる四季折々の景色が美しい「ぽっけの庭」を散策したり、構内の学食で食事をすることができます、と家庭や職場とも異なる「第三の場」としてご利用いただいています。



浦和大学の五十嵐教授にお話を伺いました。

実は「ぽっけ」では、ちょっとしたお約束がありまして、その一つが子どもに「ダメ」と言わないこと。「〇〇しないでね」と違う表現をお願いしています。また、おもちゃの取りあいも止めに入りません。子どもたちの気持ちを聞いて「どうするのか」を決めてもらいます。子どもが「貸したくない」と言えば、他の子は待つことになりますが、友達と関わり「遊び」に集中した経験は、同時に「学び」も深めていくことになります。保護者の方も「ぽっけ」では携帯電話の利用はご遠慮いただき「今、ここで過ごしていること」をお子さんと共有していただいている。

親も子も学んで、成長する、大切な時間。



長年「ぽっけ」を支える市川さん。

「ぽっけ」では保護者の方向けに年に数回、講座を開いています。創作活動であったり、教員や学生と子育てについて話しあう場であったりするのですが、その時間はお子さんは「ぽっけ」で預かり、親子は離れて別々の時間を過ごします。保護者の方にとっての学びの場であると同時に、その時間は子ども同士もお友達と触れ合い、成長する大切な時間。だから、講座の後は「放っておいてごめんね」ではなく「あなたも楽しかった?」とお子さんに声をかけて欲しいなと思います。そのほかにも、年に一度、カナダで生まれた親支援プログラム(※)も開催し、親同士が互いに助けあえる柔軟なつながりづくりを支援しています。

※カナダの親支援プログラム(Nobody's Perfect プログラム)…「完璧な親も完璧な子もない。子育て経験やアイディアをお互いに分かちあおう」がコンセプト。参加者は、グループで話しあうことで、自分にあった子育ての仕方を見つけていく。

美園にある、変わることなくある。そして、これからも。

小学生のお子さんがキャンパスで講座に参加する「一日大学生」という試みもスタートし、4年目を迎えました。「学校教育学科」も創設され、新しい一步を踏み出した「浦和大学 こども学部」と「ぽっけ」は、これからもこの場所で美園に関わり、つながりを続けていくことが大事だと考えています。

DATA

浦和大学 親子のひろば「ぽっけ」

住所:埼玉県さいたま市緑区大崎3551

アクセス:埼玉高速鉄道「浦和美園」駅より浦和駅東口行き乗車5分「浦和大学」下車、無料のスクールバスもご利用いただけます。

開設日時:月・水・金曜日の10:30~16:00(祝祭日は休み、大学講義の関係で不定期開設となる場合あり)

参加費:保険料として、1回あたり1家族100円

ボーイスカウト団結成から1年 「さいたま第226団」の活動をご紹介

社会奉仕活動や自然体験を通して健やかな子どもを育成するボーイスカウト運動。美園にも2017年4月に「さいたま第226団」が誕生し、地域の子どもたちが元気に参加しています。自然体験活動、ハイキング、そして日本全国や世界のボーイスカウトとの交流、はじめての体験ばかりだった結成からの1年間。小学校1・2年生が所属する「ビーバースカウト」、3～5年生が所属する「カブスカウト」の活動の様子をご紹介します。



さいたま南地区の「カブスカウト」が集まる全体行事「カブスカウト」に参加、まだ私服で初々しい姿です。



発団式典には清水市長を始め、たくさんの方々がお祝いに駆けつけました。



「駒場野営場」でのデイキャンプ。テントを張ったり、自然を探索したり団員は元気いっぱい。



「日本ジャンボレット高萩 2017」へ、ボーイスカウト専用のフィールドで自然体験活動。



PROFILE

ボーイスカウトさいたま第226団 副団委員長
後藤 幸弘(ごとう ゆきひろ)

2015年より、教育委員会や行政、地域の人々に働きかけ、「さいたま第226団」の組織化に尽力。団の運営に携わり隊員たちをあたたかく見守り、指導している。



「川口自然公園」で行われた、指令書をもらひ組に分かれで指令をこなしていく「追跡ハイキング」。大人に頼ることなく、自分たちの力で頑張ります。

美園から「県民健康福祉村」を目指して1時間近いハイキングにも挑戦しました。



2018年の年明け、カブスカウトは徒歩で一日かけて小江戸川越七福神めぐりへ。



ボーイスカウトの創始者であるベーデン・パウエル卿の誕生日を記念する「BP祭」では、彼の生い立ちからボーイスカウト設立に至るまでの歴史を学びました。

INFORMATION

「さいたま第226団」プロフィールをご紹介！



自然との触れあいや仲間との共同作業を通して、子どもたちの生きる力を育むボーイスカウト運動は、1908年にイギリスから日本に伝わり、全国的に広がりました。「さいたま第226団」には32名が在籍し、月3回ほどどの頻度で日曜日に活動中。屋内での創作活動から、公園への遠足や自然観察、ボーイスカウトの全体行事まで、地域に根差した多彩な活動を展開しています。

さいたま第226団 入団上進式

新年度最初の行事として、新規スカウトの入団式と、ビーバーからカブ、カブからボーイへの上進スカウトの上進式が行われます。
日時：2018年4月8日(日)10:00～11:30 場所：埼玉スタジアム2002公園 もみの木広場

「美園からはじめる、美園からはじまる」 人びとが集う「美園公民館」の新たな取り組み

長い間、美園の人びとに親しまれている、1972年開館の「美園公民館」。現在の来館者は公民館近隣の方が中心です。駅の東西から人びとが自然と集い交流する場として、更なる活性化を目指し、この春から新しい取り組みがはじまります。

「美園公民館」を地域の「お茶の間」に



4月から「美園公民館」では新しい取り組みとして、「美園うたのカเฟ」が月に一度開催されます。場所は入ってすぐ左手のロビー。木の床があたたかく迎えてくれます。かつてカเฟで腕を振るっていたマスターが淹れる美味しいコーヒーとともに、集まった人びとがギターに合わせて一緒に歌を楽しむ…という、これまでの公民館の在り方にとらわれず、美園からはじまる、まさに地域の「お茶の間」を体現する試みです。

「美園うたカเฟ」開催予定日

2018年4月13日、5月11日、6月8日、7月13日、8月10日、9月14日、10月12日、11月9日、12月14日、1月11日、2月8日、3月8日
※いずれも、毎月第2金曜日の10:00～11:30ごろに開催されます。

2018年3月12日にシェアサイクルポートが設置

埼玉高速鉄道「浦和美園」駅の東側からの利用や移動も活性化させるために、今年の3月12日にエコモビのシェアサイクルポートが設置されました。トイレもきれいになり、エコモビ利用者に関わらず気軽に立ち寄っていただけるサイクル拠点としての機能が向上しています。美しい景観と豊かな自然が守られている「見沼田んぼ」にもアクセスしやすくなりました。



エコモビの設置により、人の流れが変わり、駅東西がもっと近くなります。みなさんのご来館をお待ちしております! (館長 一條さん・山本さん)

DATA

さいたま市立美園公民館

さいたま市緑区大門1973-1
TEL/FAX.048-878-0515

＼ 行ってみよう！参加してみよう！／

この春出かけたい、「新しい一歩」におすすめのスポット

「浦和美園」駅から歩いて1分！

「美園図書館」も併設された「美園コミュニティセンター」

2016年に開設された「美園コミュニティセンター」は、文化・芸術・スポーツ・レクリエーションなどの活動の場です。「浦和美園」駅の東側徒歩1分の場所に立地しており、「美園支所」、「美園図書館」、「美園教育相談室」も併設。まだ新しい施設ですが「美園公民館」や学校などとも連携が進んでいます。農家さんと一緒に旬の食べ物を楽しむ講座も開催、美園について理解を深めるきっかけの場にもなっています。



(提供: 美園コミュニティセンター)



駅のすぐ近くにありますが、まだ新しい施設のため、意外と「まだ使ったことがない、よく知らない」という方がいらっしゃるかもしれません。趣味の講座やイベントも多数開催しておりますので、ぜひお越しください。お待ちしています。(館長 新井さん)

DATA

美園コミュニティセンター

さいたま市緑区美園4-19-1
TEL.048-764-8810

鉄道会社が仕掛ける！「SRカルチャースクール」

社内のスペースをもっと有効活用しよう、できるだけ地域に還元していく、という想いから始まった「浦和美園」駅3階にあるカルチャースクール。2015年のオープンから、徐々に口コミが広がり、美園地区や沿線の方を中心に利用希望者が増えています。内容はリトミック教室や小学生を対象にした作文講座、語学講座やダンスなど様々。特に人気のある講座は台湾文化と台湾語を学ぶ教室、ワンコインで学べる気軽さがその秘訣のようです。



「何か始めたい」という方がこのまちに大勢いらっしゃるんだなと日々感じています。講師の方とも相談しながら、試行錯誤しながら講座と一緒に作り上げています。ぜひ気軽にお立ち寄りください！(埼玉高速鉄道 大川さん)

DATA

SRカルチャースクール

さいたま市緑区美園4-12
TEL.048-878-6867

「散策できる日本一の桜回廊」が彩る「美しき園」

地図を片手に「見沼田んぼ」に出かけよう

埼玉高速鉄道「浦和美園」駅の改札にて配布が始まった「見沼再発見 散策マップ」(下図)。地図上には徒歩、自転車それぞれのルートとともに、レンタルサイクル（エコモビ）の拠点やトイレの場所なども掲載されています。美園の名所旧跡もイラストとともに記されており、見どころがたっぷり詰まっています。さあ、地図を持って「美しき園」の散策に出かけましょう。



※このマップは、2018年3月時点の情報を一部抜粋して掲載しているものであり、実際のものとは異なる可能性がございます。ご了承ください。

「見沼田んぼの桜回廊」が日本一に

2017年に「散策できる日本一の桜回廊」となった「見沼田んぼ」の桜回廊。2013年度から市民や団体、企業などの寄付で植樹を進め、「見沼代用水」の西縁、東縁の桜を増やし、既存の桜並木から2km延長、総延長は20kmを超えるました。

桜回廊の近くの公園や緑地なども植樹が進んでおり、「見沼田んぼ」周辺で5,000本以上の桜を楽しむことができます。



美しきオアシス「見沼田んぼ」に思いを馳せる



閘門内での復元船の様子（提供：さいたま市）

パナマ運河より古い享保年間に開通した閘門式運河（こうもんしきうんが・本流と用水の水位差を調整しながら通船させる仕組み）の「見沼通船堀」。「見沼田んぼ」に代表される豊かな恵みが、水運によって江戸のまちと行きかうことで、モノだけでなく人や文化も交流が進んだという歴史があります。この「美しき園」の往時の様子に思いを馳せながら散策するのも、また楽しみのひとつです。

INFORMATION

埼玉高速鉄道「浦和美園」駅改札横ラックにて配布中！

地図上には、散策に便利なレンタルサイクル（エコモビ）の登録・利用方法や、バスを使ったショートカットのご案内も掲載されています。埼玉高速鉄道「浦和美園」駅でぜひお手に取ってご覧ください。

協力

「見沼たんぼ地域ガイドクラブ」
<http://www.minuma-guide-club.com/>
「NPO法人 見沼ファーム21」
<http://www.minuma-farm21.com/>

お問合せ

埼玉高速鉄道 総務部 事業推進課
TEL.048-878-6867
(平日9:00~17:30)



新しい美園の顔のひとつをみんなの手で。

「キャブテン翼」ステンドグラス除幕式を支える人びと



公益財団法人日本交通文化協会が、埼玉高速鉄道の協力のもと、一般財団法人日本宝くじ協会の「社会貢献広報事業」の助成を受けて、企画・制作・設置するパブリックアート「キャブテン翼～世界に翔け～」。

サッカーのまち美園の玄関口である「浦和美園」駅の改札前に幅約20mの巨大ステンドグラスが設置され、2018年3月11日に除幕式を迎きました。

当日は原画・監修を務めた高橋陽一先生もご出席されるなか、地元高校のサッカーチーム員や幼稚園のお子さんも参加。運営スタッフとして地域ボランティアも活躍した美園ならではのあたたかいイベントとなりました。

DATA

「キャブテン翼～世界に翔け（はばたけ）～」完成披露除幕式

開催日時：2018年3月11日（日）11:00～11:30

場 所：埼玉高速鉄道「浦和美園」駅2階コンコース

主 催：埼玉高速鉄道株式会社



「埼スタ」のある美園に鉄道会社ができること

徐々に「サッカーのまち」として知られるようになってきた美園。住民にも来街者にも親しまれる「まちのシンボル」づくりとして、「キャブテン翼」のパブリックアートは企画されました。本プロジェクトを中心となつて推進したのは、都心と美園を一本の線でつなぐ鉄道会社である埼玉高速鉄道。そこには美園のことを知つてもらひ美園に向かう人の流れを作り出したいという想いが込められています。

「オリンピック開催を控え、国内外で愛されている作品でみなさんをお迎えできることを嬉しく思います」(埼玉高速鉄道 大川さん)



プロジェクトに関わった
埼玉高速鉄道 総務部 事業推進課 大川さん

美園をつなぐ地域ボランティアと一緒につくる除幕式

除幕式では美園のまちに住まう地域ボランティアがイベント運営を支え、式典の主催者である埼玉高速鉄道と地域の人びとをつなぐ重要な「橋渡し役」として活躍する姿が見られました。

美園では、地域のボランティア活動などを活性化させていく仕掛けとして「ちょいサポみその」プロジェクトが始動しています。その一環として、今年からます「UDCMiメールニュース」を介しての募集情報発信がスタートしました。今後も美園の人びとが「まちを育む」活動がより一層高まることが期待されます。



当日の様子。ボランティアが式典を支えた。

※ちょいサポみその… 美園におけるまちづくり活動の活性化に向けて、地域活動や交流イベント等の運営者と、地域の取り組みに参加したい住民等とを結びつけるプロジェクト。

INFORMATION

地域協働による「かわまちづくり」が始まります！



綾瀬川遊歩道 整備イメージ

「埼スタ」のある“スタジアムタウン”として知られる美園。さらなる人びとの交流促進を目指し、地域住民が参加のもとで「みんなが担い手」となり「綾瀬川」を中心とした水辺空間の“これからの姿”的検討が進められてきました。その流れを受け、2018年3月に『美園スタジアムタウン：河川空間活用計画』が策定。「綾瀬川遊歩道」の先行区間の舗装整備はこの春にも着手が予定されています。



大門上調節池広場 整備イメージ

この先行区間をモデルケースとして、美園に住まう人、事業者、行政が連携して担い手となり「綾瀬川」沿いの自然と人びとの賑わいが共生する空間づくりが展開されます。また「大門上調節池広場」についても、サッカー開催時および平常時の利活用を見据えて検討が進められています。

この人に聞きたい、美園との出会い 美園とわたし

美園に魅せられ、想いを寄せるみなさんに、まちとの出会いやこれからのことについてお話を伺いました。

第一回は、駅で手に取った『美園人』の冊子からご縁が広がったという工藤さんをご紹介します。

「鳩ヶ谷」駅で見つけた『美園人 vol.02』で「鈴木殖産園」を営む鈴木さんの記事を読み、美園にこんな人がいるのかと感銘を受けました。実際にお会いして、農業を営みながら垣根のない交流の場を広げ、故郷を育む生き方にますます共感し、そのご縁から「鈴木殖産園」の名刺を作ることになったんです。その制作の過程での人からこの人へと、さらに美園での輪も広がりました。

美園を拠点に、大人も子どももワクワクできるような面白いことを仕掛けたい。仕事に限らず暮らし面でもご縁を広げていきたいです。

PROFILE

工藤 元気(くどう もとき)

銀座のweb制作会社に10年以上勤め、webを中心に行き、ディレクター、営業に携わる。2017年末にフリーランスとして独立。ものごとを仕掛けたり人々をつなげたりと、ディレクターの枠にとらわれない働き方を目指している。



出会いのきっかけとなった『美園人』。鈴木さんのように「何屋さんなの?」と聞かれるような生き方がしたいという。

工藤さんがディレクションを手がけた「鈴木殖産園」の名刺。美園で育まれたご縁が思ひぬ形に発展した。



美園人 × 「みそのいち」

生産者のみなさん聞く「季節のとっておきを教えてください！」

第1回

「笠原園芸」さんの巻

「春」のとっておき、シクラメン

色鮮やかで華やか、たっぷりとした丸い花弁が特徴のシクラメン。300年もの間、育種を繰り返して現在の形になりました。3世紀にもわたる改良の成果ともいえる花です。その原種というのがシクラメン・ペルシカムです。寿命は40年～50年と言われ、当園にある最も古いシクラメンは20年前に父がオランダで買ってきました。園芸種のシクラメンに比べ、丈夫で野趣に富み、可憐さが魅力です。私が好きなのは原種ですね（笑）。



華やかな園芸種のシクラメン（上写真）。

原種のシクラメン・ペルシカム（右写真）



笠原 勇（かさはら いさむ）

「見沼田んぼ」で生産直売を行う「笠原園芸」の代表。幼少時より植物に触れて育つ。「植物の生き様を見てほしい」と願い。

「植物やガーデニングに関するることは、お気軽におたずねください」

1 水のやり方

シクラメン 育て方 POINT！

水をやるときは、たっぷりとあげてください。そうすることで水圧が掛かり、根全体に水が行き届きます。それと、土が乾くまでは水をあげないというのも重要なポイントですね。シクラメンの土には腐葉土がたくさん入っています。それが乾くときに土が縮んで隙間ができます。そこに空気が通ることで、根腐れしにくくなるのです。

2 肥料の与え方

肥料を与えるときは、なるべく波が大きくならないようにしてください。シクラメンは、状態に合わせて肥料を使い分けるのが理想です。それが難しいようであれば、コーティング肥料と液体肥料の併用がおすすめです。

だから美園が好き。その理由を教えてください。

『美園人』第5号にご登場いただいた方々に、美園についての質問にお答えいただきました。みなさんの「美園愛」あふれる回答に注目です。

Q: 美園についての想い、好きなところを教えてください。



市川さん、五十嵐教授
(p.06 参照)

A: 見沼に代表される自然の豊かさが、美園の魅力だと思います。桜の季節から、新緑、紅葉、雪景色まで四季折々の美しさのもとに、みんなが集まって、会って、交流が広がるまちだと。大学の「ぼっけの庭」も地域の人びとが集う憩いの場所として親しまれています。



後藤 幸弘さん (p.08 参照)

A: 「埼玉スタジアム2002公園」の南門付近にある「もみの木広場」はお気に入りスポットです。広くてきれいな芝生の広場はボーアスカウトの子どもたちも存分に楽しめる場所だと思っています。適度な傾斜があるので式典にも適していますね。4月8日(日)にはここで「さいたま第226団」の2018年度最初の行事として「入団上進式」を開催する予定です。



伊藤 元気さん (p.16 参照)

A: 美園の自然、そして農業が盛んなことに惹かれます。もともと農業に関心があったので、美園で採れた野菜をもっと食べたいなど(笑)。「『美園人』をきっかけに鈴木伝一さんに出会い、美園で人ととのつながりが生まれた、そのご縁が何よりの魅力です。



笠原 勇さん (p.17 参照)

A: 都心部から同心円状に地図を見ていくと、美園に残された自然は際立って見えます。100年先、1000年先を見据えて後世に何を残し、何を伝えるべきかを考える時期かもしれません。以前、ここに撮影に来たカメラマンが、あまりの環境の良さから“気分が高まる”と言っていました。地元だとあまり意識しないことですが(笑)。

＼『美園人』第一期地域センターの活動がはじまります／



2018年2月から募集を行っていた『美園人』第一期地域センター。
たくさんの方々にご応募をいただきありがとうございました。

この春からいよいよ、活動がスタート!
地域センターが美園の“過去・現在・未来”をお伝えしていきます。
新たな仲間が加わってお届けする『美園人』に、ぜひご期待ください。

美園人

みそのびと

編集後記

「一步を踏み出そう」というテーマでお届けした『美園人 vol.05』いかがでしたでしょうか。『美園人』も新たな一步として、美園に住まう方、美園で働く方、未来を担う子どもたち…さらに人の輪を広げて、みなさんと一緒に「美しき園」「美しき人」の魅力をお伝えしていきたいと考えています。
2年目を迎えた『美園人』を今後もよろしくお願い申し上げます。

美園人（みそのびと）第5号

発行日 2018年4月1日
企画・発行 みその出版 @UDCMi

お問合せ UDCMi 運営事務局：一般社団法人美園タウンマネジメント
〒336-0962 埼玉県さいたま市緑区下野田 494-1 オークリーフ 1F
TEL.048-812-0301
info@misono-tm.org
<http://misonobito.jp/>



× みその出版

『美園人』はwebでもご覧いただけます。 <http://misonobito.jp/>

ここから、はじまる。「美しき園」、「美しき人」。『美園人』web版では、PCやスマートフォン・タブレットなどで、冊子で紹介しきれなかった取材のこぼれ話やオフショット、美園でこれから行われるイベント情報などをご覧いただくことができます。随時更新中です。最新の情報はこちらから。

